

# かわにし

議会だより

第137号

2019

4.15



春の光にはばたく

吉島小学校卒業式 P26に関連記事



川西町議会H.P  
QRコード

シリーズ広聴

- こんな農業ができたらいいな … 2
- 政策検証 提言はどう生かされた … 6
- 31年度予算 新庁舎建設工事着手 … 10
- 6議員が福祉など町政をただす … 18
- 議会だより 9年連続入賞 … 32

国と地方が対等であるとした地方分権改革が進み、地方自治体の首長、議会は、住民の意見を十分に聞き、政策に反映させることが求められている。

議会では議会基本条例の定めにより、毎年各地区に出向き、住民との意見交換会を実施し、それらの意見を踏まえて、町長に対して政策提言を行っている。

議会ではさらに、各種団体等との意見交換にも取り組み、今回は、「シリーズ広聴 町が大好き」第3弾として認定女性農業者の皆さんに登場して頂いた。

# 農業が楽しい 夢をかなえるために

## 一 町の農業を支える 認定女性農業者の皆さん



夢をかなえ農業を開く、認定女性農業者の皆さん

### 認定女性農業者制度とは

川西町独自の制度です

- 趣旨** 地域農業を担う女性農業者が誇りと自覚のもとに活動できるよう、女性農業者の経営の拡充や起業等の計画を認定し、達成に向けて支援を行う。
- 対象者** 以下の条件を満たす女性農業者
  - ・地域のリーダーとして活躍が期待される18～65歳の者
  - ・農業経営の向上に意欲的に取り組む者
  - ・農業従事日数が150日／年以上
  - ・本町に住所を有する者
- 認定期間** 5年
- 支援制度**
  - 資金利子助成事業**
    - ・貸付金額 50万円以上200万円以内
    - ・貸付利率 1.5%
    - ・返済期間 5年以内
    - ・資金用途 農業生産（機械・施設等）
  - 営農費用助成事業**
    - ・リース補助
    - 自己負担額の1/2か20万円の低い方
    - ・購入補助
    - 対象経費の1/2（上限50万円）

#### 制度の流れ

農業経営拡充  
新規起業計画  
を作成、提出

審査会

認定

資金利子助成  
営農費用助成  
事業の活用

農業経営状況  
報告書を  
作成・提出

## 夫を支えて頑張りたい



川崎 幸さん

時田。夫、夫の両親と、水稻、大豆の種子、食用菊の複合経営を営んでいる。経営会議は夫と父が中心となっている。冬は保育士の仕事に就いている。

川西町では、町独自の認定女性農業者制度を発足させ、これまで5人を認定しました。

この制度の目的は、地域農業の担い手である中核的な農家の女性農業者が行う、経営内容の拡充や新たな起業などを認定し、計画達成に向けて支援を行うというものです。

皆さんがこの制度を活用して、農業や6次産業化にチャレンジされていることに敬意を表します。

#### こんなことをしています

現在どのような取り組みをされているのかお聞かせ下さい。

#### 川崎

農家に嫁いで15年になります。家族全員で米、大豆の種子、食用菊を栽培しています。補助金は出荷資材の購入に活用させていただきました。冬は保育の仕事をしています。将来は個人経営から法人化しようと思っています。

#### 荒井

会社員をやめて農業に本格的に取り組んでから10年になります。農産加工と薄皮丸ナスの通信販売をやっています。役場や周りの方に助けていただきながら続けることができました。

はえぬきを使った米粉パンを南陽愛菜館、置賜総合支庁売店、森のマルシェで販売しています。またナスは自根苗にこだわり、露地栽培と一部ハウスでポット栽培をしています。

#### 吉田

主人と二人で水稻・大豆とグリーンアをやっています。切り花グリーンアは私の仕事で、芽挿しして苗から育てています。無加温のハウスで2月上旬まで切り花を収穫できましたので、今後は楽しみです。



**荒井 和子** さん  
下奥田。「真っすぐ屋」を経営。6次産業化で米粉パンに取り組む。通信販売で薄皮丸ナスを生のみもと、漬物にして販売している。また味噌餅などを手掛ける。

**江本** 嫁いってから13年目になります。

また6次産業化に取り組んでから6年目になります。これまで継続できたのも、家族の理解と、役場をはじめ多くの皆様のご指導のおかげです。

**我妻** 新規就農し、今年で3年目になります。家族経営ではなく私一人で、多品目の野菜栽培をやっています。忙しい時は父にも手伝っていただき、それでも足りない時は農産物を購入していたり、だいたい消費者の皆さんにボランティアで

我が家は、米と繁殖和牛（10頭）の複合経営です。ハウス園芸で夏場はキュウリ、冬場はホウレンソウ、小松菜を栽培しています。私は直売所向けの野菜と、6次産業化で手作



**江本 牧子** さん  
中小松。「まっきーガーデン」を経営。水稻、繁殖和牛10頭、園芸ハウスの複合経営を営むが、6次産業化でドレッシング、焼き肉のたれ、ハーブの加工品に取り組む。

**我妻** 認定女性農業者への町の支援制度は十分に活用させていただき助かりました。

私の課題は、人手がないとお手上げの時期があることです。9月はダリアとサトイモの収穫が重なるので、本当に労働力が欲しい。どのようにして労働力を確保しているか、教えてください。

——シルバー人材センターの活用も考えられます。最近ではハローワークを活用している

来ていただいています。課題はいろいろ

——皆さんが生きがいを持って活躍されていることがわかりました。そこで、今かかっている悩みや課題について教えて下さい。

**川崎** 食用菊のアザミウマという害虫対策が大変です。あとは暑さですね。

**荒井** 6次産業化は自分が栽培したものを使うことで付加価値が出ますが、仕入れの割合が大きいと利益が出ず、コスト高になってしまいます。

**吉田** 私は、田植時の苗運びや稲刈り時の初運びなどは手伝いますが、あとは自分のダリアの仕事をしています。切花ダリアは出荷基

自由になんでもできる環境に感謝しています。これからも、薄皮丸ナスを全国の人にお届けすること、安心して食べてもらえる米粉パン作りに励みたいと思います。

私の夢は、川西の特産であるダリアの花を、全国に広めることができるということです。ダリアの切り花は多くの品種があつて、奥が深いのが魅力です。ダリアにかける夢は本当に大きく広がります。

**江本** 私の6次化にも理解を頂き自由にやらせてもらっていることに感謝しています。将来は夫と一緒に仕事をしたいと思っていますので、私の仕事をどう方向転換するか考えています。

——それは、「私の描く将来の夢」についてお聞かせください。

**川崎** 夫の夢をサポートするの、私の仕事だと思っています。息子が大きくなると3世代で農業ができればと思っています。

**荒井** 始めるときの夢は達成できて、

準が厳しいので防除作業と選花作業がとても大変です。ダリアの苗は購入すると高いので、自分で育てています。自分が持っている品種だけ苗を買うようにしています。

**江本** 課題は山積みです。冬は自由になる時間があるので、ホームページの更新や経営を振り返る時間に行っています。何もかも自分でやらなければならぬので大変です。ホームページの更新を

外注すれば、これも経費がかかりますね。——地域おこし協力隊にホームページ作成に明るい人がおられます。相談してみたいかがでしょうか。町が計画している加工所ができたら利用しますか。

**江本** すでに設備投資をした人には必要ないと思いますが、これから始めた人が、投資をする前に試行できるのはよいことだと思います。



**吉田 祐子** さん  
上小松。夫と大規模な水稻、大豆、ダリアの複合経営を営む。ダリアを担当している。脇芽から苗を育成、全国に川西のダリアを広めるのが夢。

山形市から川西町に来て感じることは、周りの人がみんな優しいことです。自然とともにいることに感動したので、野菜とハーブで暮らしを楽しむ方法をワークショップなどでお伝えしたいと思っています。

**我妻** 10年20年、何年かかかるかわかりませんが、農業を通して人を元気にしたというのが私の夢です。先頃、かわにし有機農業推進協議会が設立

され、埼玉県小川町の金子さんの講演をお聞きして大変感銘を受けました。未来の川西町全体が有機農業となり、子どもたちにつなげられたらいいと思います。——「女性は天の半分を支えている」という言葉があります。皆さんの先駆的な取り組みが、川西町の農業を支え、女性を元気にしていく大きな力になります。今後の活躍を期待しています。



**我妻 優子** さん  
洲島。新規就農して3年目。切り花ダリアや、サトイモ、カボチャ、青菜など多品目の野菜栽培に取り組む。一部は有機契約栽培をしている。

田舎ぐらしの良さを伝えたい／農業を通して人を元気に

シリーズ  
広聴  
町が大好き  
3

# こんな農業ができたらいいな

# 議員全員で 29年度政策を検証

3月22日、定例会最終日に、29年度検証評価報告書が加藤議長から原田町長に手渡された。  
議会基本条例に規定した、開かれた議会のテーマのもと、町民との意見交換会をもとに、町行政の施策の分析と討論を行った。これで「政策提言↓検証↓評価」の1サイクルが終了することになる。

5度目の政策検証となるが、重要性の高い項目に検証評価が集中しがちである。施策にスピード感がなければ評価が上がらないとも言える。

# 提言は どう生かされた

とかく、議会は言いっぱなしで後始末をしないなどと言われがちである。結果が出れば実現となるが、政策的にも財政的にも、執行権のない議会の思いどおりには進まないものである。そのためにも議会総意で進捗度の点



検を図る必要がある。  
検証と評価は議会基本条例に定めがなく、先進事例も少ないため川西町議会が全国に先がけてその手法を考案し、改良・改善を重ねているもので、改善点があれば常に見直すことにしている。

**1年後の到達点をAからEの5段階で評価**  
具体的な評価方法は29年11月の町長からの回答書をもとに、各常任委員会ごとに検証を行った。

検証基準は次のとおりである。

- ① 政策を必要とする背景
- ② 提案に至るまでの経緯
- ③ 町民参加の実施の有無及びその内容
- ④ ほかの自治体の類似する政策との比較検討
- ⑤ 総合計画における根拠または位置づけ



評価を生かしたまちづくりを = 検証評価を町長に

**政策検証評価の基準**

- A** 必要な取り組みを着実に実施、その結果、目標達成ないしほぼ達成
- B** 必要な取り組みを着実に実施、その結果、達成に向けて具体的成果が見られる
- C** 必要な取り組みをおおむね実施、その結果、一定の成果が見られ始めている
- D** 必要な取り組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている
- E** 取り組みに向けた検討に着手、目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である

⑥ 財政  
⑦ 将来にわたる政策などの効果およびコスト

担当課から回答後1年の施策実施状況の聴き取りを行い、その後各議員が5段階評価を行う。全議員の平均点がその項目の評価となる。

さらに、広報広聴常任委員会が整理・検討を重ね、再度全員協議会に諮り正式な検証報告書が作成される。検証システムはオリジナルだけに、十分とはいえない面もある。提言後1年間では成果の出ない長期的な施策もあり点数は辛くなる。成果の出たものは提言から外されるということもあり高評価は出にくい側面がある。それぞれの評価基準は左表のようになる。

評価日は平成31年1月末日である。

## 地域循環型経済とは

地域内で生産されたものを地域内で消費することにより、経済が循環すること

### 2 加工品の開発による、付加価値の高い新商品の開発

**回答** 6次産業化支援事業を創設し、加工施設や機器等の整備、町内産の農林水産物やその加工品等の新商品開発、販売促進、販路開拓、新作物の導入、品目拡大に対して、これまで37件の支援を行ってきた。森のマルシェを拠点とし情報提供していく。

**検証評価**  
**B** 6次産業化支援事業創設の効果がでている。起業、操業後レベルアップする支援の工夫が必要である。森のマルシェを利用しながらの販路拡大を目指すこと。



地元食材を生かしたメニュー作りに取り組む森のマルシェレストラン

### 1 地域特性を生かした仕事づくりを推進

**回答** 「川西町創業支援計画」により、平成28年度には、理容業者、飲食業者、自動車修理関連業者の3件が創業を開始した。生産、加工、販売、交流を担う農工商関係者のほか、置賜農業高校や金融機関との連携を図り、引き続き支援していく。

**検証評価**  
**C** 行政が主導し、生産から販売にかかわる関係者が連携を図り、情報を共有し、新たなものづくりに積極的に取り組むべきである。

## 提言 3

6次産業を核に  
地域循環型経済の確立を

### 3 地域資源の活用による交流を促進し、定住人口の増加を目指すこと

**回答** 「かわにし森のマルシェ」を整備、川西ダリア園との連携を強化し、パークゴルフ場のオープンで町内の回遊型観光による交流人口の拡大が図られる。交流による川西ファンの拡大と移住定住の促進に努めていく。

**検証評価**  
**D** 都市との交流事業による交流人口の拡大は評価する。「豆」を契機として地域資源を活用し、川西ファンを増やして移住定住の促進を図ること。

### 2 整備にあたっては、住民の意見を反映し、住民ニーズに沿った施設更新とすること

**回答** 公共施設等総合管理計画では、「今後の再配置計画等を実行する際には、事前に町民との協議を行うものします。」と定めている。公共施設の整備は、住民ニーズの把握や住民意見を十分反映していく。

**検証評価**  
**D** 幅広い住民、特に若い世代の意見を聴取することが必要である。時間の取れない、中学生・高校生・子育て世代等においては直接意見を聞く場を設け、またSNS等の利用も考慮すべきである。

### 2 学校跡地利用は、地域と協議しながら早急に対応すること

**回答** 平成29年度に学区再編に伴い東沢小学校及び高山小学校が閉校となった。町の財産管理、地域づくりの面からも重要であると認識している。その跡地利用は、現在、庁内の関係課による協議を開始。調査、研究を行っている。今後は、地域の方々の意見をいただきながら、慎重に検討していく。

**検証評価**  
**D** 跡地利用については、地域住民の意見を尊重するとともに、町としての考え方も明示すべきである。

### 1 住民サービスの低下や、住民負担が増加しないよう適正な財政運営を図ること

**回答** 財政運営は、財源確保の検討と財政計画を踏まえた調整が重要である。事業の厳選等を行い、財政規律を守り、計画的に事業を推進し、住民サービスの低下や住民負担の増加を招かないよう努めていく。

**検証評価**  
**C** 平成30年3月の「川西町公共施設個別施設計画」の策定は評価できる。大型事業の実施に伴い財政を圧迫する懸念があるため、公共施設等総合管理計画、個別計画さらに財政計画との整合性を図るべきである。

## 提言 1

公共施設整備によるサービスの低下を防止する

## 提言 2

学区再編のいじめ防止を

# 新庁舎建設工事に着手

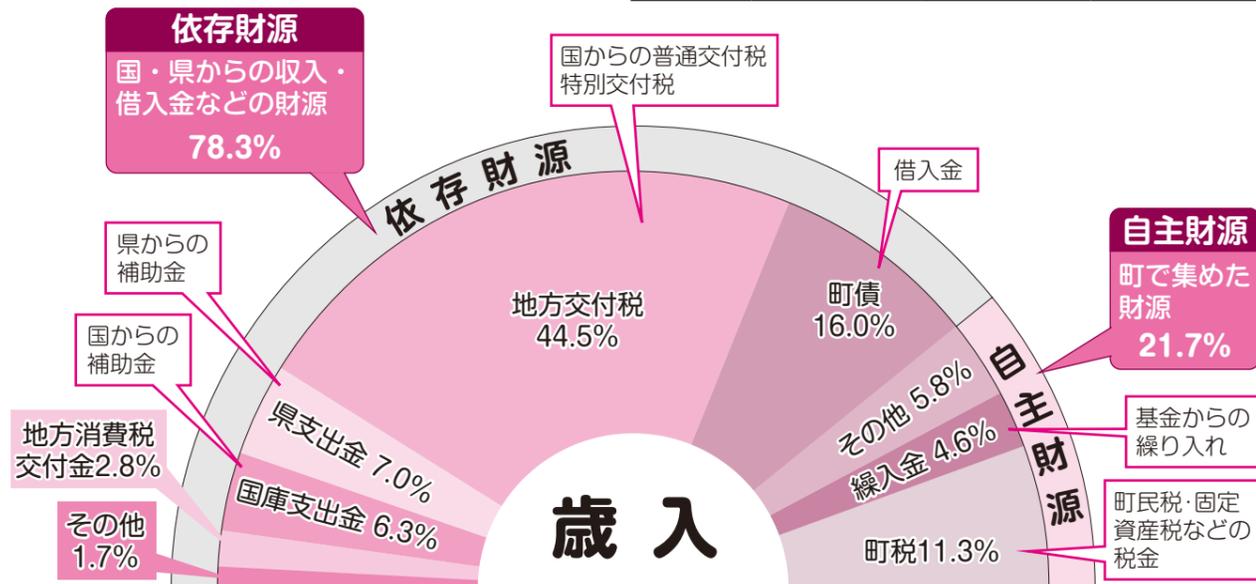
31年度予算  
前年度比9.8%増

3月  
定例会

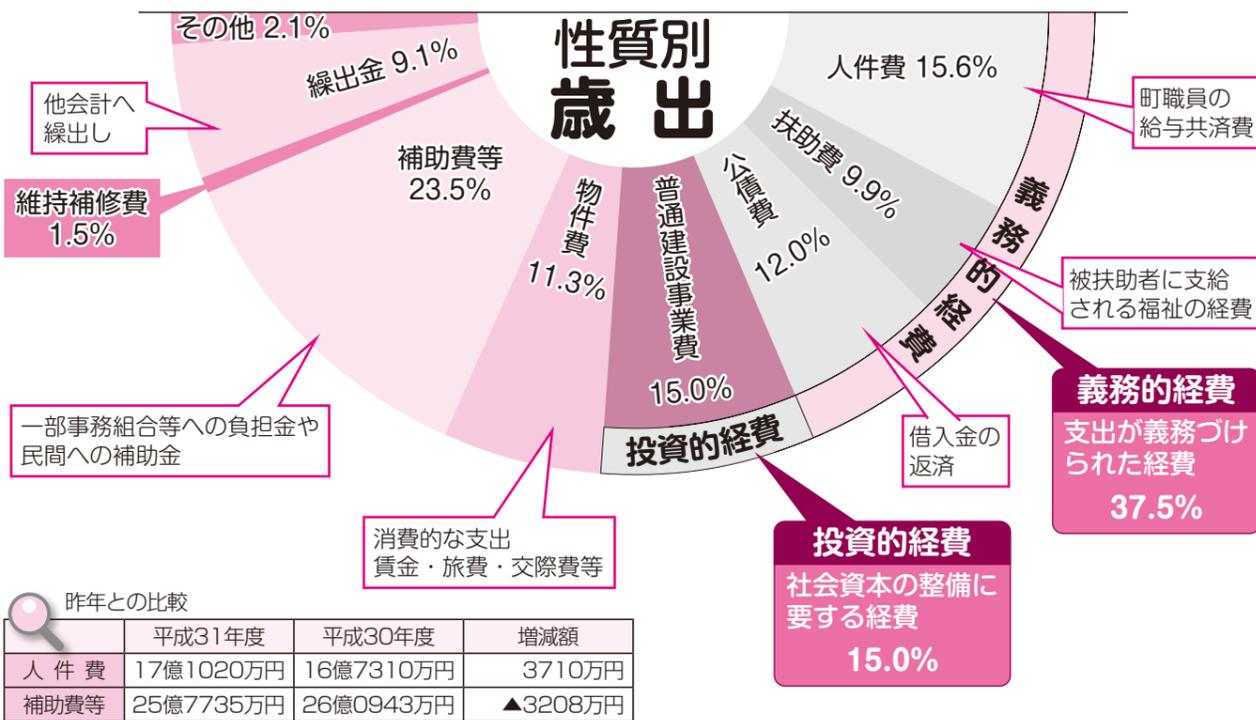
## 予算の内訳

昨年との比較

	平成31年度	平成30年度	増減額
地方交付税	48億7500万円	48億4500万円	3000万円
町債(借入金)	17億5680万円	10億1640万円	7億4040万円



## 一般会計 109億6500万円



昨年との比較

	平成31年度	平成30年度	増減額
人件費	17億1020万円	16億7310万円	3710万円
補助費等	25億7735万円	26億0943万円	▲3208万円

### 平成31年度一般会計予算の特徴

- 109億6500万円の前年度対比9.8%の増。過去最高の予算額となった
- 投資的経費は新庁舎建設があり、8億9101万円増の16億4507万円。公債費(借入金返済)は13億1703万円。
- 主な事業は、新庁舎整備、メディカルタウン整備、虚空蔵山西線道路整備など。

平成31年度の一般会計予算の総額は109億6500万円。前年度対比9.8%増。新庁舎建設で過去最高額の予算となった。

町長は施政方針で「新庁舎整備、かわにし未来ビジョンやまち・ひと・しごと創生総合戦略のプロジェクト事業をはじめ、町の政策的課題や重要事業を可能な限り盛り込んで」としている。

最大のプロジェクトである新庁舎整備、公立置賜総合病院周辺のメディカルタウン道路整備、虚空蔵山西線道路改良、花丘町下小松線防雪柵設置などを盛り込んでいる。

また引き続き、高校3年生相当までの医療費無料化、運転免許証自主返納の推進を行う。

地方交付税は、全国規模で1.1%の増が見込まれていることや、

27年度に借り入れた過剰対策事業債の元金償還額が算入されること、さらにこれまでの交付状況を踏まえ、前年度比0.6%の増を見込んでいる。

また、町長は本町の財政状況について、「健全化判断比率は良好な数字を維持しているが、引き続き基金の繰り入れが多く、厳しい状況にある。自主・自立に向けた行財政システム

本町は、積極的に大型事業を行っていることから、常に財政への懸念が付きまとう。

議会は、二元代表制の一翼を担っており、チェック機能を発揮して財政規律を注視することが重要である。

**注視**  
 議会は財政規律を

## 過去最高額の予算

## 借入金(町債)大幅増

### 3月定例会のあらまし

3月定例会が3月5日から22日まで18日間の会期で開催された。

第1日目に、人事3件、課の設置条例改正を審議した後、条例等5議案を常任委員会に付託、条例4件、30年度補正予算6件、31年度予算7件の審査を予算特別委員会に付託した。

第2、3日目に一般質問を行い、6議員が福祉行政などを取り上げ、町政をたじた。

第4日目に降に常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査した。

最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した22議案を原案通り可決し、追加の請負契約の締結を承認、条例、議員発議の読書推進条例等を可決、閉会中の事務調査を許可して閉会した。傍聴は7人。

# 私もひとこと

## 災害に強い安心な庁舎を

小松地区 窪村 郁子 さん

新庁舎が川西町の新たな顔として、どのような庁舎になるか楽しみにしています。防災対策、雪対策などの災害に強く、誰でも安心して利用できることを期待します。



さらに、現在の庁舎の跡地利用についても、協議されていくことを望みます。

## メディカルタウンの完成を

大塚地区 森谷 昌之 さん

今、川西町は劇的な変化を迎えようとしています。本町の主要産業である農業や商工業の振興に加え、医療を中心としたメディカルタウン整備が行われます。これを契機に公立置賜総合病院周辺で、高齢者や若者が生活する上での環境が整うことになり、町の活性化が期待できます。



## 早期全線開通に期待

中郡地区 山田 誠一 さん

予定よりも大幅に虚空蔵山西線の開通が遅れていると思うのですが、なぜこんなにも時間がかかるのかと、常々疑問を感じていました。



今回の予算によって、一気に開通に向けて進展するのと思うことしきり。

植樹した虚空蔵山の桜が成長し満開になる頃、全線開通になるよう期待します。

# 31年度 予算

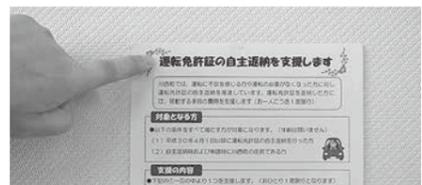


早期全線開通を目指す

国道287号へのアクセス改善を目指す虚空蔵山西線道路改良は、全長1420mで、内1080mが川西町分、340mが米沢市分である。国の社会資本整備総合交付金(補助率3分の2)が修繕や補強等に優先的に支出されており、新規の道路整備には交付金が付きにくくなっている。30年度までの進捗率は46%で、31年度で57%になる。完成予定は令和5年頃を見込んでいる。米沢市と連携を図り、早期完成を目指す。

## 虚空蔵山西線道路改良

6226万円



安全安心な生活に向けて

免許証の自主的な返納を行った人に、移動手段の確保と公共交通の利用促進を図るため、タクシー乗車券、バス回数券、山形鉄道利用券、JR回数券、町商業協同組合商品券のいずれかを2万円分(1回限り)支援する。申請が多く好評なことから増額した。

## 運転免許証自主返納推進

1000万円



有機農産物生産に利用される堆肥の製造施設整備

本町の農家が飼育する家畜の排せつ物処理を行い、環境保全に努めるとともに、生産された堆肥により安全安心な農産物の生産振興を図るため平成22年に「たまにわ堆肥センター」が整備され、築後約10年が経過した。耐用年数10年とされている屋根の劣化がひどいため、布膜屋根の大規模改修に取り組むこととした。本年度は南側、来年度は北側を施工する。今回使用する屋根材は「エバーマックス」というもので、耐用年数が15年。

## たまにわ堆肥センター管理運営

3581万円



町の新たな発展に結びつくよう望まれる

メディカルタウン整備事業は、公立置賜総合病院周辺の都市機能の整備、定住人口の創出と交流人口の拡大を目的に行われる。梨郷道路川西ICの供用開始が明確にならないため、農振除外、農地転用が進んでいないが、計画内の道路整備をすることによってその手続きに入ることができると見られる。本年度は町道整備(菊田松線、横道八幡林線、2633万円)、下水道整備実施設計(2300万円)等が進められる。

## 新庁舎整備



新庁舎建設が予定通りに進められている

新庁舎整備には、国の「市町村役場機能緊急保全事業」により、借入金元利償還金の内22.5%の財政支援が得られる。総事業費は36億1300万円を見込む。すでに基本設計・実施設計、用地取得が完了、用地造成工事を行っている。新庁舎、車庫・エネルギー棟、防災倉庫棟の工事は、3月中に入札を行い議会において議決されたのによいよう着工となる。本年度は前払金など10億5820万円を見込んでいる。完成は令和3年1月。

10億5820万円

## メディカルタウン整備

5257万円

# 31年度 予算

## 平成31年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	109億6500万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計	17億5691万円	賛成多数により可決(反対1)
下水道事業特別会計	5億8812万円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	9223万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	18億7251万円	賛成多数により可決(反対1)
後期高齢者医療特別会計	1億6866万円	賛成多数により可決(反対1)

企業会計	収入	支出	議決の内容
水道事業会計	収益的	5億1861万円	全員賛成により可決
	資本的	6160万円	

※資本的収支：不足する1億7457万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てん

### 総括質疑

#### 若者の意見を聞く場を設けよ

橋本 欣一 議員

**橋本** 町の各種審議会、委員会の構成をみると、各団体の長や組織の代表者ばかりで若者や女性、子育て世代の委員が少ない。柔軟性のある多様な意見の反映が難しい。時間や仕事の都合はあるが、SNSや学生

**町長** 組織・団体の代表者となるとどうしても固定化してしまう。次世代を担う方々の意見は大切にしたい。今後検討していく。

#### 新行財政改革策定の方針は

佐々木 賢一 議員

**佐々木** 行財政改革の指針である経営改革プランは31年度で終了する。新計画の策定にはどのような方針で臨むのか。

**総務課長** 大型の事業が続くので、今後財政が厳しくなる。ICTの活用やペーパーレス化なども念頭に入れて計画を策定したい。

**佐々木** 学力向上にどう取り組むのか。

**教育長** 学力低下がみられたことは残念。地域と一体になり学力向上を目指す。プログラミング教育、英語教育などに力点を置く。

#### 企業誘致の方針は

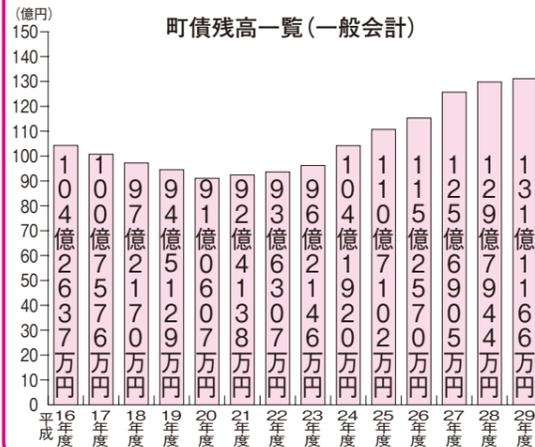
神村 建二 議員

**神村** 雇用対策は置賜地区雇用対策協議会や、町内関係機関と連携し雇用機会の確保に取り組み、とある。雇用の大きな要素である企業誘致策についての方針はどう捉えているのか。

**町長** 既存企業の雇用を守ることを最優先と考えている。さらにメイカルタウン開発に伴う雇用の需要も掘り起こし、誘致企業、既存企業ともバランスよく進め、雇用機会の確保に努めていきたい。

#### ここが知りたい

##### 町債(借入金)の推移



# 町長に聞く

分科会の予算審査で、特に政策的な事項を町長に聞いた



創立123年の置賜農業高校、連携推進で存続を

#### 町長

本町と置賜農業高校は、産

**問** 県教育委員会が3月7日に「東南置賜地区の県立高校再編整備計画(骨子案)」を発表した。長期的には、東南置賜地区全区で、現在の7校から4校、または3校配置とする方向性が示された。今後の置賜農業高校との連携推進事業の在り方はどうなるのか。

## 置賜農業高校との連携体制を整備

業、教育、文化の各分野で相互に連携・協力し地域の発展と人材の育成に寄与して行くことを目的に、平成27年3月、「川西町と置賜農業高等学校との連携に関する協定書」を締結した。置賜農業高校の存在は、地域の人材育成の場であり、学校が有する資源や研究成果等の教育活動は、本町の活性化に資するものと期待している。また、本町唯一の高等学校の存在意義を高めていきたい。

農業高校は、農業という人間が存在するための最重要分野を学ぶ場であり、その強みを最大限発揮し、存在意義を高めるビジョンを樹立する必要がある。本町と置賜農業高校、相互の発展に向けた体

**意見** 本町に置賜農業高校が設置された歴史を継承し、同高の維持、発展のため支援体制を確立すること。

**町長** 平成30年からの国の米政策の見直しや農家の高齢化、担い手不足など農業情勢の変化に今後どのように対応していくのか。

**町長** 平成29年3月に策定した川西町農業振興マスタープランは、「豊かさを目指す強い農業づくり」を基本理念とし、「4つの基本方針①多様な担い手の育成・確保、②水田フル活用による農業所得の向上、③川

## 農業再生の未来像をどう捉えるのか



労働力不足の一助となるか = 全国農業担い手サミットより

西ブランドの確立と魅力発信、④農地の保全と集落営農の堅持、を掲げて、戦略的な農業経営の確立と農業所得の向上を図る。

園芸振興では、重点推進作物に指定している「アスパラガス」や「えだまめ」の産地化を目指すため、本年4月に「おきたま園芸ステーション」を稼働する。

畜産振興では、「川西生まれ川西育ち」の米沢牛の地域内一貫生産、ブランド力強化に取り組んでいる。

一方、施策推進の課題は、農業就業人口の減少が予測され、労働力確保対策が、当面の重要課題と認識している。

これらのことを踏まえ、強い農業づくりを推進していく。

**意見** マスタープランに掲げた各施策を着実に推進すること。

庁舎跡地利用

早期に具体策の策定を

**問** 庁舎跡地の活用計画は、

庁舎跡地での基本的な機能等の計画策定を実施する。

**意** 早期に具体策を作成すること。

**問** 同報系防災行政無線の在り方は、

難聴解消のため機器増設を新庁舎建設と併せて検討している。

**意** 難聴解消のため増設すること。

**問** 東日本大震災の避難者への支援は、

町単独で除雪費用と灯油助成を行う。

**意** 町の支援を広く周知すること。

**問** 各納付金の収納状況は、

コンビニでの納付が年々増加しており、納付環境の拡充に資するものと捉えている。

**意** さらなる周知を図ること。

**問** 危険空家の取りこわし支援は、

平成31年度は10件分の要望を国に対して行った。

**問** 危険空家の取りこわしは、上限額を40万円とし、支援事業補助金として交付する。そのうち2分の1は社会資本整備総合交付金として国から交付される。

**意** 平成31年度は10件分の要望を国に対して行った。

**問** 愛知大学交流事業の内容は、

本間喜一顕彰基金を活用した奨学金給付により、就学支援及び連携自治体推薦制度推薦者に対し支援する。

**意** 愛知大学との連携強化のため学生の受け入れのみならず、本町高校生が愛知大学を訪問し、体験できる仕組みを検討すること。

**問** 新庁舎融雪設備工事の財源は、

環境省の低炭素型入支援事業を活用する。

**意** 地域子育て支援事業の調査研究とはどのようなものか。

**問** 新庁舎融雪設備工事の財源は、

環境省の低炭素型入支援事業を活用する。

**意** 地域子育て支援事業の調査研究とはどのようなものか。

**問** 子ども・子育て支援事業計画を策定するためニーズ調査を実施し、その結果を踏まえて、子育て支援策を検討していく。

**意** 子ども・子育て支援策を検討していく。

**問** いじめ防止対策は、

弁護士や警察署等の関係機関の情報共有を図るために、いじめ問題対策協議会を設置している。

**意** 関係機関の連携を強化し組織全体でいじめ事案の防止に努めること。

**問** スクールバスの運行管理状況は、

運行体制の強化を図るため、民間事業者への運行委託を検討していく。

**意** 運行体制の強化を図るため、民間事業者への運行委託を検討していく。

温かい想いの  
ふるさと納税を生かせ

産業厚生  
第2分科会

ふるさとづくり寄付金の状況

年度	件数	寄付金額
平成20年度	5	16万円
平成21年度	11	38万5千円
平成22年度	12	39万5千円
平成23年度	8	86万円
平成24年度	16	74万6千円
平成25年度	186	282万8千円
平成26年度	541	661万9千円
平成27年度	396	574万1千円
平成28年度	2042	5820万8千円
平成29年度	2549	7457万円
平成30年度	3372	9230万円

※平成30年度は31年2月末現在

**問** ふるさと納税の予算額と活用状況は、

予算を1億4400万円計上し、次世代を担う子ども育成事業等に活用する。

**意** 納税者に詳しく情報を提供する

**問** 障害者地域生活支援事業の内容は、

施設入所者の地域生活の移行に伴い、障害者の生活を支援する拠点となる体制などの整備が求められており、地域自立支

**問** 援協議会において具体的協議を進めていく。ひとり暮らしの高齢者の見守りは、

緊急通報システムのほか、民生委員やケアマネージャーなどの訪問、民間事業所との協定締結による見守りサービスなど、多様な手法により行っている。

**意** 高齢社会において重要な取り組みであり今後も推進を図ること。

**問** 健康診査・各種検診は、

各種検診事業は前年度と同様の内容を予定している。今後も受診率向上を図り、疾病の予防、早期発見・治療の推進を図ること。

**意** 新規就農者支援の状況は、

新規就農者の就業定着による本町農業の担い手確保・育成を図るため、新規就農者総合支援事業によるきめ細やかな支援を行う。



活性化に向けた庁舎跡地利用計画策定を



販売好評の川西産米 = 森のマルシェ

十分か。

**意** 耐用年数が経過した屋根を布膜屋根材で大規模改修工事を行う。

**意** 財源については起債以外の有利な補助事業の活用についても検討すること。

**問** 森林病害虫防除事業の内容は、

松くい虫被害木に関し、県補助金を活用し下小松古墳群及びダリヤ園周辺の景観維持、2次被害防止を図る。

**意** 町有地以外の場所についても対策を強化すること。

**問** みどり環境交付金事業はどうか。

町内事業者が町内産木材を利用して制作した木製プロットを町内幼児施設に配布する。

**意** 木材加工品他事業での活用など普及推進を図ること。

**意** 木材加工品他事業での活用など普及推進を図ること。

# 6人の議員が一般質問

ここが聞きたい！

## 町政をただす

定例会第2日目、3日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問した。

通告順（発言順）に掲載する。

19 <sup>P</sup>	淀 秀夫 議員 ① 国の借金1100兆円について ② 29年度予算額について ③ 太陽光発電について
20 <sup>P</sup>	神村 建二 議員 ① 人口減少対策について ② 地域経済活性化策は
21 <sup>P</sup>	伊藤 進 議員 ① 高齢者福祉について ② 総合計画について ③ 置賜農業高校との連携について ④ 食育について
22 <sup>P</sup>	伊藤 寿郎 議員 ① 高齢者に対するごみ出しの支援について ② 引きこもり対策と「8050問題」への対応について ③ 時代の節目への備えについて
23 <sup>P</sup>	橋本 欣一 議員 ① 国民健康保険税の軽減について ② 外国人労働者の受入れについて
24 <sup>P</sup>	鈴木清左衛門 議員 ① ファイナルアプローチ～町再生へ

①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかった。その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。

(<http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>)

一般質問とは

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。

また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

# 財政 国の借金1100兆円 のしかかる重い負担 町長 一 国、地方を合わせ黒字化目指す必要

**淀** 国の借金が1100兆円、国民1人当たり871万円となり、生まれたばかりの赤ちゃんにも多額の借金が負わされる気の遠くなる現状だ。首長の立場でどう感じるか。

**町長** 一刻も早く国、地方を合わせた基礎的財政収支の黒字化を図る必要がある。

**淀** 町の人口は1万5千人と年々減少。国のかじ取りをする政府に対する私見は。

**町長** 就業者数の増加、雇用、所得環境は大きく改善しているが、生活に直結するサ

**淀** 借金は外国からではなく、国民からの借金だという見方もある。いずれ貨幣の切り替え、デノミが起りうることもあるのかと不安だ。戦後、民主化を図るため地方に権限を持たせる3割自治がGHQ指導下で行われた。本町の現状は3割自治どころか2割以下。他の自治体も同じで国に頼り切っているのが現状である。

**町長** 戦後昭和21年にデノミが実施された。我が国の純債務高は主要先進国で最悪

**淀** 1ピスの低下が心配である。

**町長** 戦後昭和21年にデノミが実施された。我が国の純債務高は主要先進国で最悪

**淀** 水準といわれているが、デノミの実施には慎重であるべきだ。

**町長** 当初の計画を基本とした事業を進めたいとの説明があった。

**淀** サンマリーナ玉庭ゴルフ場敷地に、ドイツのフォトルト社による、太陽光発電事業が動き出している。昨年3月議会で一般質問をしたが、その時点では暗礁に乗り上げていたとの説明だった。

**町長** 来庁の段階では具体的な事業計画等が精査されていない状況だった。現在は

**淀** 事業は121haにパネル設置数20万枚、総事業費210億円。東北電力への売電額は20億円とのことだが。

**町長** 説明会には職員が出席する。事業者と地元代表者による協定書には、立会人として加わり、事業者と地元のパイプ役を果たす。

**町長** 説明会には職員が出席する。事業者と地元代表者による協定書には、立会人として加わり、事業者と地元のパイプ役を果たす。



淀 秀夫 議員



ソーラーパネル設置が進むか = 旧サンマリーナ玉庭

# 一般質問

## 人口減少

### 人口減少を食い止める策はないか

#### 町長 一豆の展示会などで関係人口を拡大していく



神村建二 議員

「雇用対策や人材確保に関する意見交換をする勉強会」をスタートさせた。今後、地域雇用を促進するための事業を実施していく。

豆の展示会等で関係人口を増やしていく

**神村** 転入から転出を超えた転出超過人数は、本町では平成28年164人、平成29年115人と、毎年100人規模で転出が超過している。転入を増やす移住・定住策は人口減少を食い止める重要な要素と考えるが。

**町長** 集落定住支援員を配置し、やまがた里の暮らし推進機構と連携しながら、空き家バンクの活用を促進し、移住・定住を推進していく。また、東京都台東区で豆の展示会を開催し「関係人口」の拡大を図っている。

**町長** 集落定住支援員を配置し、やまがた里の暮らし推進機構と連携しながら、空き家バンクの活用を促進し、移住・定住を推進していく。また、東京都台東区で豆の展示会を開催し「関係人口」の拡大を図っている。

**町長** 集落定住支援員を配置し、やまがた里の暮らし推進機構と連携しながら、空き家バンクの活用を促進し、移住・定住を推進していく。また、東京都台東区で豆の展示会を開催し「関係人口」の拡大を図っている。

**神村** 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標に対する実績は。

**町長** 数値目標の状況は、平成29年度末現在において、農業産出額が65.1億円(目標61億円)、創業・起業件数は9件(目標15件)となっている。

農業産出額は畜産産出額の伸びが大きく、目標を大幅に上回る状況にあったため、目標値を67.5億円に上方修正をした。

今後基幹産業である農業の振興を基軸としながら6次産業化の取り組みを推進していく。

**町長** 相互の発展に向けて連携を強化していきたいと考えている。

現時点では、内容を基に学校側で検討が行われた結果、準備不足で31年度は申請を見送り、次年度に向けて準備を進めていくとの考えから、町でも積極的に参画していく。

**町長** 家庭菜園等を栽培講座等の要望がある。地域と連携した取り組みにもなると思うので、進めていくことを望む。

**町長** 家庭菜園等を栽培講座等の要望がある。地域と連携した取り組みにもなると思うので、進めていくことを望む。

**町長** 家庭菜園等を栽培講座等の要望がある。地域と連携した取り組みにもなると思うので、進めていくことを望む。

**町長** 家庭菜園等を栽培講座等の要望がある。地域と連携した取り組みにもなると思うので、進めていくことを望む。

※関係人口 展示会などを通して、その町に関心を持ち何らかのつながりを持つ人

# 福祉 高齢者福祉など課題解決の状況は 町長 一町地域包括ケア推進会議を設置



にぎわいづくりに一役の「春待ち市」= フレンドリープラザ(2/24)

**伊藤** 町全体の課題解決を進めるため、協議会設置ということであったが、どのような状況か。

**町長** 関連団体代表者、生活支援コーディネーター、有識者など合わせて15名で構成する「川西町地域包括ケア推進会議」を設置し、地区と連携した推進体制を形成した。この他、個々の自立支援に向け「個別ケア会議」を組織し、専門的視点で包括する支援体制をとっている。

**町長** 年金食堂(仮称)への見解は

**伊藤** 子ども食堂はよく聞かぬが、高齢者版の「年金食堂(仮称)」というのは作れないか。

**町長** 町としては現在「配食サービス事業」を実施している。対象は65歳以上。自分で食事の準備ができない一人暮らしの高齢者、または高齢者のみの世帯としている。

**町長** くつろげる場といたして、本町独自のいきいき百歳体操がある。最近、食材を持



会食を兼ねた百歳体操も行われてきている

ち寄り、一緒に料理をし会食する会場も現れた。提案主旨に通じるものであり、今後、魅力ある居場所づくりを図る手法として普及していきたい。

**町長** 総合計画 新庁舎建設によって計画の見直し

**伊藤** 過疎法の期限があと2年だがその後

**町長** 現行過疎法の失効に伴う新たな制度創設を政府に対して要望している。

**町長** 置賜農業高校との連携

**伊藤** 連携については文科省通知の

# 一般質問

## 高齢者支援

### 高齢者のゴミ出し支援策は

#### 町長ー可燃ゴミは週2回自治会ルールで出す



伊藤寿郎 議員



週2回となる可燃物収集

**伊藤** 高齢になつてくると物を持って移動したり、決まった日のゴミの収集日・時間に車を出したりする日常作業が大変だと聞く。特に冬期間は危険を伴うこともあり、収集日、時間の見直しはあるか。

町長 これまで多くの町民や議会からの要望もあり、可燃ごみの全地区週2回収取を4月から実施することにした。時間は8時までに出すことになっているが、自治会の定められたルールに従って出していたかどうかを確認している。

**伊藤** 町として、引きこもりの8050問題への対応は

**町長** 県では「困難を有する若者等にか。どの程度把握しているか。

町では訪問による相談や専門機関への紹介など、関係機関と連携し支援を行っていく。

**伊藤** 就労体験の機会を設けることは引きこもりでない人にも重要な体験となる。特に引きこもりの人にも最も不足しているのが体験ということであり、社会生活にとつても必要だと考えるが機会はあるか。

**町長** 米沢市内にあるトステーションでは、国委託事業として15歳から39歳までを対象に、

**伊藤** 引きこもりが長期化し、80代の親と引きこもる50代の

※8050問題 50代の中老年の引きこもりの子を80代の親が面倒を見るケースをいう

# 国保 平成31年度の国保税はどうか

## 町長ー平均約10パーセントの引き上げの予定

**橋本** 保険者が県と町となったいわゆる県一本化により、昨年度の国民健康保険税は引き下げられた。31年度の県への納付額は昨年度の10・5パーセント引き上げの4億5700万円とあり、さらに医療分の上限が3万円引き上げられ61万円になる予定だが、このまま賦課していくのか。

**町長** 山形県国民健康保険運営方針では法定外繰入金金の解消が求められており、国保加入者以外の町民の負担を強いることにならぬので、国保税軽減のための法定外繰入は行わない。

**橋本** みんなで負担した税金を、国民の生存権を守るために使うのは当然だ。同じ世代・世帯で保険料負担が2倍も違う不公平は異常である。

**町長** 国保税軽減で子育て施策を図ることは制度上困難である。

**町長** ハローワーク米沢管内では、外国人労働者が129事業所で446人となっており、半数以上が製造業で働いている。市町村別の公表はされていないが、訪問活動での調査によれば、町内では製造業の3事業所で、中国やベトナムから20人程度技能実習生の受け入れが行われている。

**橋本** 一般会計からの財政支援（法定外繰入金）で国保税の軽減を図るべきではないか。

**町長** 山形県国民健康保険運営方針では法定外繰入金金の解消が求められており、国保加入者以外の町民の負担を強いることにならぬので、国保税軽減のための法定外繰入は行わない。

**橋本** 全国では子どもの均等割をなくす動きが広まっている。宮古市では国保加入の子どもすべてで免除、仙台市では3割減額などである。国保法77条の「特別な

**町長** 国保税軽減で子育て施策を図ることは制度上困難である。

**町長** 今後増加する外国人労働者に対する支援を検討すべきである。

**橋本** 保険料は、協会けんぽの20万円と比べれば約倍以上の42万円（30代子ども2

**町長** 山形県国民健康保険運営方針では法定外繰入金金の解消が求められており、国保加入者以外の町民の負担を強いることにならぬので、国保税軽減のための法定外繰入は行わない。

**橋本** 改定入管法により外国人労働者の受け入れが容易になる。人手不足の状況が続く中、町内の外国人労働者の状況は。

**町長** 今後増加する外国人労働者に対する支援を検討すべきである。

**橋本** 今後増加する外国人労働者に対する支援を検討すべきである。

**町長** 今後増加する外国人労働者に対する支援を検討すべきである。

**橋本** 今後増加する外国人労働者に対する支援を検討すべきである。

**町長** 今後増加する外国人労働者に対する支援を検討すべきである。



橋本欣一 議員



医療費削減は健康から = 百歳体操

※法定外繰入 一般会計から保険料の軽減や事務費などを繰り入れて支援する制度

# 一般質問



鈴木清左衛門 議員

## 町再生

### どうする圏域構想への対応

#### 町長「どっちかといえば反対」

地域衰退か、圏域構想への対応

は」との見出しで各市町村の現状が報道されている。

**鈴木** 「09年に始まった「定住自立圏構想」は4万人を超す市を核に生活圈を維持する仕組みで、いずれも中心市に手厚く地方交付税を配分する」(山形新聞2月24日より引用)さらに「圏域構想」反対34%の見出しで始まり、3面には「地域衰退するので

合戦略も議論される「まち・ひと・しごと創生会議」の中心メンバーである増田寛也氏が、東京一極集中の流れが止まらないことについて「総合戦略の第1期の課題点は、自治体に対して人口フレイム(計画目標人口)と対策を一緒に作らせてしまったことだ。各自自治体は人口増加の目標を達成するために近隣と人を奪い合っている

共同通信によるこの「圏域」構想アンケートに川西町の回答はどのようなものであったのか。また中心市に手厚く配分される地方交付税において、周辺町である本町は減額などということはあるのかを聞かないのかを聞く。このたびの「東洋経済」において今年から次期総

る」などと言い、増田レポートのせいで東京一極集中がかえって加速してしまったことを暴露してしまった。このような状況下において町長は市町統合を視野に入れて聞けるのかを聞く。

**町長** 共同通信社への回答は「どちらかといえば反対」とした。フルセットで行政サービスを提供するには限界が見えてきたが、



定住自立圏構想の中心となる米沢市役所

**鈴木** 2017年の自治体1人当たり所得ランキングで、北海道の猿払村が813・7万円で全国3位である。本町における町民一人当たりの所得向上にどのような考えで取り組もうとしているのかを聞く。

**町長** 企業誘致などにも積極的に取り組む。関係人口と交通の質問 移住者への対応と対策、財政状況などについて質問した。

# 人事

## 教育長

### 小野氏を再任

#### 教育長の選任に同意

●小野 庄 士(再任)

米沢市春日



平成31年3月31日をもって任期満了となるため、提案された。

プロフィール

- 平成23年4月 米沢東高校校長就任
- 平成24年3月31日 退職
- 平成24年4月1日 本町教育長就任
- 平成28年4月1日 新制度教育長に就任、現在に至る。

全員賛成により同意

#### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

●星野 謙 司(再任)

川西町大字吉田

平成31年3月31日をもって任期満了となるため、提案された。

全員賛成により同意

#### 人権擁護委員の諮問に同意

●安部 眞(再任)

川西町大字下小松

法務大臣より推薦の依頼があったので、議会に諮問されたものである。

全員賛成により同意

## 3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議員名	伊藤 寿郎	伊藤 進	鈴木 幸廣	鈴木清左衛門	神村 建二	橋本 欣一	齊藤 智志	(欠員)	淀 秀夫	齋藤 修一	高梨 勇吉	金子 一郎	佐々木賢一	遠藤 章一	加藤 俊一
議第8号 平成31年度川西町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
議第11号 平成31年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
議第12号 平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
議第15号 川西町課設置条例の設定について	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	
議第16号 川西町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
議第28号 川西町役場新庁舎敷地造成工事変更請負契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○		○	○	-	×	×	○	

町提出案件28件、諮問1件、議員発議4件

○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

## 議長交際費(議会活性化の一環として公開)

平成30年10月から平成31年3月まで

月	件数	金額	内容	月	件数	金額	内容
10月	4	26,006	置賜地方町村議会議長会正副議長連絡会議負担金他3件	2月	0		
11月	2	11,000	全国農業担い手サミットin山形他1件	3月	0		
12月	1	5,000	慶弔費1件	下半期合計		52,006	
1月	1	10,000	川西町建設業協会新年会				

# 基盤整備事業に追加補正

## 事業の進捗を図る



大規模経営を後押し = 基盤整備事業

国の第2号補正予算を受け、農業競争力強化基盤整備事業の進捗を図るため県事業費が増加した。それに伴い4地区の町負担金が増額となり不足額を追加補正する。

- ①高山地区に300万円。
- ②宮地地区に900万円。
- ③谷地地区に120万円。
- ④大塚西部地区に7890万円。

農業の競争力を強化するためには、

- ①農地の大区画化や汎用化、パイプライン化やICT等の導入により、新たな農業排水システムの構築、国土強

朝化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策の推進。

- ②担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化などの推進により、農業の構造改革を図ることが不可欠である。

すでに区画が整備されている農地の畦畔除去等による区画拡大、暗渠排水、客土、除礫等の簡易的な整備については、農業者の自力施工を活用し、安価かつ迅速に実施することが有効となる。このため、農地中間管理機構とも連携しつつ、地域の実情に応じたきめ細やかな農地の整備を推進する。



表紙の写真

春の光にはばたく  
吉島小学校の卒業式。草花も芽吹く季節になりました。

不安と期待を胸に子どもたちは、春の光を浴びながら学び舎を巣立って行きます。

中学校では勉強や部活動などさまざまなことで、大人への階段を一步一步進んで行くことでしょう。

新しい時代を切り拓くために自己研鑽を積み、自らの未来に希望をもって力強くはばたいて行ってもらいたいものです。

### プレミアム付商品券

消費税・地方消費税の10%への引き上げが10月1日に予定されている。低所得者・子育て世帯(0~2歳)の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚

起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券の販売を行う。これら市町村に対し、実施に必要な経費を国が全額補助する。購入対象者および購入限度額は、

①2019年度住民税非課税者が券面額2・5万円(販売額2万円)×3歳未満の子の数で、町では約300人としている。使用できる期間は2019年10月から2020年3月までとなる。

### ため池工事追加補正

農村地域の防災・減災のため、老朽化した農業水利施設やため池の耐震対策、集中豪雨による農村地域の洪水被害防止対策の補修・更新を行う。今回の補正では3カ所のため池

総合整備事業の負担金を追加する。

- ①飯坂ため池に700万円
- ②四ツ釜ため池に2100万円

## 主な質疑

**問** プレミアム付商品券事業の内容

**問** 新庁舎に係る本体等の建設工事

**問** 健康福祉課長 国の補正を受け新設する事業だが、事業実施年度が平成31年度になるため、全額を次年度に繰り越す。

**問** 未来創造型課長 市町村役場機能緊急防災、減災事業債である。

**問** 財政調整基金の繰り入れ状況は。

**問** 担い手確保・経営強化支援事業の内容は。

**問** 周知活動や、購入者の利便性向上に努めること。

**問** 国の補正予算を国産品活用した中心経営体への農業機械整備等に係る補正で全額繰越明許を行う。

**意** 健全な財政運営のため、国の指針による本町財政規模の5%は堅持していく

**意** 採択者に対する目標達成に向けて、指導を強化すること。

## 平成30年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第7号)	107億6900万円 (1億5063万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第3号)	17億1020万円 (1173万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第4号)	5億337万円 (2065万円を減額補正)	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計(第2号)	9584万円 (335万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第4号)	19億1769万円 (39万円を追加補正)	全員賛成により可決
水道事業会計(第3号)	収益的支出	767万円追加
	資本的支出	3367万円減額

## 一般会計補正予算(第7号)の主な内容

(歳出)		
広域病院運営事業	負担金	▲1694万円
プレミアム付商品券事業	報償金・消耗品等	106万円
冬季交通確保事業	維持補修費	3430万円
担い手確保・経営強化支援事業	農業機械・施設整備	3611万円
ため池総合整備事業	負担金(飯坂)(四ツ釜)(間坂)	3282万円
農業競争力強化基盤整備事業	(高山)(宮地)(谷地)(大塚西部)	9210万円
(歳入)		
国保保険基盤安定制度	国庫負担金	▲266万円
プレミアム商品券事業	費用国庫負担金	138万円
担い手確保・経営強化支援事業	費用県補助金	3611万円
庁舎建設基金	繰入金	3540万円
除雪費	負担金	430万円
庁舎整備事業	債	▲3540万円

# 条例

## 議員発議で政策条例2例目

# 読書推進条例を制定



本の木 = 遅筆堂文庫

近年、議会の政策立案能力を示す指標として「条例制定件数」が取り上げられることが多くなり、議会改革の一環として議員による政策条例の提案が行われるようになった。本町においても、平成26年3月定例会で「地酒による乾杯を推進する条例」を制定している。川西町は、本町出身の作家故井上ひさし先生から、すべての蔵書を寄贈いただいたり、条例制定を機に、一層の読書推進を図られることを期待したい。

**全員賛成により可決**

### 議員報酬 23年ぶり改定

議会議員の報酬について、議員活動の情勢および他町との均衡を考慮し、改定する必要があると思われるため提案されたもの。改定に当たっては、町特別職報酬等審議会において審議され、それぞれ月額1万円の増額が決定された。長年据え置かれてきた議員報酬は、23年ぶりに改定される。

議長 34万円  
副議長 28万円  
議員 26万5千円

**賛成多数により可決**  
(反対1人)

### 条例の審査

条例	主な内容	審査結果
消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備	10月1日から消費税が10%に引き上げられることに伴い、関係条例を改正。	全員賛成で可決
庁舎建設基金条例の一部を改正	基金の繰替運用を可能とするため。	全員賛成で可決
斎場の設置等に関する条例の一部改正。	斎場の使用区分、新たに「改葬遺骸」を追加。火葬炉の使用区分に応じて使用料を明確化。本町住民以外の使用料見直し。用語の定義を明確化。	全員賛成で可決
特別職の職員の給与に関する条例の一部改正。	県の医師の日額報酬が4月1日から改定されることを受け、日額報酬の上限を2万2000円から2万2100円に改定。	全員賛成で可決

# 負約 請契

## 新庁舎建設

# 22億5720万円で落札



新庁舎外観予想図

**新庁舎整備建設工事 一般競争入札（条件付き）が行われ決定した。**

**契約目的**  
新庁舎整備建設工事

**契約金額**  
22億5720万円

**契約相手方**  
東置賜郡川西町大字上小松988番地1  
殖産・松田・藤島建設企業体

**代表者**  
東置賜郡川西町大字上小松988番地1  
株式会社 殖産工務所  
代表取締役 伊藤一壽

**新庁舎敷地造成工事 変更請負契約締結**

**変更増額分**  
1077万6240円

**相手方**  
東置賜郡川西町大字上小松988番地1  
株式会社 殖産工務所  
代表取締役 伊藤一壽

**造成工事の変更契約を行う。主なものは、擁壁工、盛土量、購入土費、仮設工に変更が生じた。**

**全員賛成により可決**

**賛成多数により可決**  
(反対3人)

# 役場の課を再編

かわにし未来ビジョンを機能的かつ効率的に推進できる組織体制に改編するためとして、提案された。

少子高齢化、人口減が進んでいる現状を踏まえ、人口規模に見合った将来の行政体の姿、組織体制の在り方を見据え、現組織体制

旧(課)	情報	新(課)	グループ(G)
総務	情報	総務	行政管理G、情報危機管理G、契約管財G
まちづくり	観光	まちづくり	地域振興G、交流観光G
産業振興	観光	産業振興	農業企画G、生産振興G、商工G
未来づくり	広報	未来づくり	政策調整G、財政G
未来創造室	広報	政策推進	政策推進G
住民生活	保険	住民生活	戸籍住民G、生活環境G
健康福祉	保険	福祉介護	福祉G、介護G
健康福祉	子育て	健康子育て	健康G、子育てG
教育総務	子育て	教育総務	教育総務G

を改編するとともに分掌事務についても見直しを図る。

大掛かりな組織再編は住民の混乱を招くとともに、組織管理や事務事業を遂行する上で押し付け合いや支障が生じやすく、空白を招きかねない。絶えず組織の在り方を検証し、改善を図っていくことで、さらによりよい行政運営を図ることができ得るとしている。

新庁舎移行（全課集約）を見据えながら、現体制で課題があると思われる組織や所掌事務の改善を目指している。現庁舎の施設制的約も加味し、過渡期である2年間の体制整備を目指し、未来志向で組織の見直しを行うもの。

**全員賛成により可決**

# 特別委員会

## 新庁舎整備特別委員会終了

### 議会機能 精力的に調査

本議会は、役場新庁舎整備における議会の機能について調査研究を行うため、平成29年6月6日開催の議会定例会において本特別委員会を設置。正副委員長、小委員会委員を選任し、調査研究体制を確立した。

2年間の本特別委員会の報告書の取りまとめを行い、3月18日議長あてに「役場新庁舎実施設計に係る議会機能について」を提出した。



議会機能向上を目指して = 新潟県刈羽村庁舎及び議場視察

平成29年2月、町当局から国の「市町村役場緊急保全事業」を活用し、平成32年度内を目途に役場新庁舎を整備する報告を受け、平成29年6月6日に本特別委員会を立ち上げた。本来であれば、議会として理想的な庁舎像について総合的に議論を重ね結論を出すべきだが、時間的な制約があるため、町当局と課題を共有し、先進地視察、設計業者への聞き取り等を実施した。課題解決に向け小委員会で議会機能について議論を重ねた。

その結果を適宜本特別委員会に報告しさらに議論を深めてきた。

【川西町役場新庁舎整備議会の機能】  
本特別委員会では議会機能を中心に検討を進めることとし、内容を整理した。議会の機能向上として、町民に開かれた議会を推進し、誰もが気軽に傍聴することを可能とし、議会活動の拠点としての機能も考慮した。

【会議室等】  
委員会室は、2委員会が同時に開催できるよう2部屋を確保。正副議長室、議員控室、図書室及び事務室を個別にする。図書室は広報編集でも利用できるようにする。

【その他】  
トイレはユニバーサルデザインに配慮、議員や傍聴者の利便性を考慮した位置。事務軽減に向け、事務のICT化を検討するとともにWi-Fi環境を整備する。

※ユニバーサルデザイン 年齢や障害の有無、体格、性別などにかかわらず、利用できることを目指した設計  
※Wi-Fi 無線LANの規格の一種。線がなくともインターネットが利用できる

# 総務文教常任委員会



本を読むことにより豊かな感性を育む

## 本町2例目の議員発議 読書推進条例を審議

1月24日、2月12日に閉会中所管事務調査を行った。

【新庁舎整備実施設計(案)等について】  
新庁舎整備実施設計(案)概要が示され、具体的な建設に向けた取り組みが説明された。委員からは、オリピック特需や災害復旧を考えると、建設資材が高額買取りのところ

へ流れることが懸念されるので、経費増加とならないよう慎重に検討することとの意見が出された。

【本町2例目の議員発議 川西町読書推進条例】  
井上ひさし氏は『本の運命』の中で「一冊の本が、読んだ人の考え方・生き方を変えるということがありま

す。」と読書活動の重要性を述べている。心豊かな生活が送れることと、未来に対応していく能力を身に着けるための、読書ができる条例制定に向けた調査を行った。

【政策提言に対する回答への検証評価】  
平成29年度に行った政策提言に対し回答がなされたので、その検証評価を行った。

# 委員会 レポート

## 産業厚生常任委員会



業界No1の一員=ケミコン米沢

## ケミコン米沢 コンデンサ最先端を視察

2月14日、「(株)ケミコン米沢」と就労支援施設「たんぼぼ」の現況調査を行った。

【業界「世界ナンバーワン」企業の一員】  
(株)ケミコン米沢は従業員数170名でアルミ電解コンデンサ世界ナンバーワン企業・日本ケミコングループの一員。電子機器の電源回路や各種機器の省エ

ネ用途に活用される電子部品を製造している。特に、車載用緊急電源コンデンサに、特徴的な製品が見られる最先端企業である。

求人に対する労働力不足が顕著で、10名ほど外国人労働者もいるが、政府対応の遅さを感じているという。

外国人労働者の住居は町内に求められず、今後の対応が必要であると思われる。

【就労継続支援B型施設「たんぼぼ」】  
障がい者福祉施設で、障がいや難病のある方のうち、通所して軽作業などの就労訓練を行うことができる福祉サービスで、作業料金が支払われる。

# 9年連続入賞



優秀賞を受賞した第133号

## 審査員 講評

### 暖色系の巧みな色遣い

山田 貞雄 委員長

暖色系のほとんど一色の濃淡を巧みに使い分けている。

隣り合う情報や発言者の立場などの言語表現を約物・地色・文字色などで、墨色と色とに多様に役割分担させている。この一貫性が見紙への模範になる。

### 閲読効果の高い広報紙

長岡 光弘 委員

「政策検証」をはじめ、政策事項をただ「町長に聞く」、シリーズ企画である「議会改革」等、議会の積極的な活動が読者に伝わる編集だ。

また、町民の声を議会に反映させる姿勢が紙面を通して読者に分かりやすく訴えかけている。

### 読みやすい議会だより

芳野 政明 委員

町民意見を政策提言に生かす従来からの議会活動を「シリーズ広聴 町が大好き」としてスタートさせた。その第1弾、商工会女性部役員参加で「こんな町になったらいいネ」の座談会、率直な意見や提案がある。テーマの切り口も明快である。

### 「町が大好き」世代を広げて

吉村 潔 委員

議会広報紙は連載企画が少ないが、「シリーズ議会改革」「議会モニターからひとこと」「町民の声」があり、当該号からシリーズ広聴「町が大好き」が始まった。女性の声を聴く試みは各種団体が多くなると思われるが、各世代に広げていきたい。



皆さんの協力で、9年連続入賞

## 表彰

# 8議員に 自治功労者表彰

## 全国町村議会議長会表彰



佐々木賢一議員 金子 一郎議員

2月6日、全国町村議会議長会定期総会において、議員在職27年以上となる方に自治功労者表彰が送られました。本町からは、佐々木賢一議員、金子 一郎議員の2人が、永年にわたる地域の振興発展、住民福祉の向上に尽くされた功績により、表彰されました。

## 山形県町村議会議長会表彰



高梨 勇吉議員 加藤 俊一議員 齋藤 修一議員



齊藤 智志議員 遠藤 章一議員 橋本 欣一議員

2月18日、山形県町村議会議長会定期総会において、議員在職23年以上となる方に自治功労者表彰が送られました。本町からは、高梨 勇吉議員、加藤 俊一議員、齋藤 修一議員の3人が、多年にわたる地域振興発展に寄与された功績により、表彰されました。また同日、議員在職11年以上となる方に自治功労者表彰が送られました。本町からは、齊藤 智志議員、遠藤 章一議員、橋本 欣一議員の3人が、地域振興発展に寄与された功績により、表彰されました。おめでとうございます。

## 広報モニターから ひとこと⑧

上小松 佐藤知恵子 さん



内容がどのようなものだったか、今になって興味があります。

2年前までは、興味のある部分と見出しを読む程度でした。紙面の構成が、これほど多岐にわたる内容とは思っていませんでした。読み込んでいくうちに、聞き慣れない語句に出会ったり、また、勘違いをしていたことがいかに多かったか、モニターになって再発見させられました。

そのような状況のなかで、私が果たして広報モニターとしての任務がこなせたか気になるところです。

町民の方の中には、私と同じような思いを持っていらっしゃる方もおられることと思います。今後とも行政への橋渡しとして、さらに分かりやすい広報編集にご尽力いただきたいと願っております。

さらに分かりやすい広報を受けたいという依頼を受けて2年がたとうとしています。これを機会に幾度か議場に足を運びました。議会だよりの発行が今回137号となり、今年4回の発行とすると昭和60年が初回発行となるので、その当時の



議会活動も多岐にわたる

少子高齢化、人口減少が急激に進行している現状を踏まえ人口規模に見合った将来の行政体の姿、組織機構の在り方を突き詰め大胆な組織再編に取り組み大きな再編は、大型

一般会計の歳入歳出予算は109億6500万円、前年度に比べ9・8%の増

他、2つの報告事項があった。

# まちの未来が見える (3月定例会の傍聴者は7人) 議会傍聴においでください 次回定例会は6月です

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。

## 全員協議会

新庁舎実施設計や平成31年度の予算の概要および組織機構の見直しなど、今後の川西町の重要な施策、事業について町長及び所管課長から説明を受けた。

1月30日  
全員協議会

1 **新庁舎実施設計(案)**  
町民の暮らしを守り、町民に親しまれる新しい「まちの庁舎」を設計コンセプトにした、

## 地域防災計画を見直し

新庁舎実施設計(案)が示された。計画建築物概要は、町役場庁舎・鉄筋コンクリート造、地上3階建、延べ床面積4434・36㎡。車庫・エネルギー棟・鉄骨造平屋建、延べ床面積588・75㎡。防災倉庫・鉄骨造平屋建、延べ床面積153㎡。で実施設計が組まれた。

事業の推進を踏まえ、未来創造室を企画推進課に格上げ。健康福祉課の事務が多様化・複雑化しているため、福祉介護課と健康子育て課に分割する。

1 **地域防災計画の見直し**  
全国各地で大規模な災害が多発していることから、国や県でも計画の修正が行われている。本町でも、自主防災組織との関わりについて明確化するなど見直しを図る。

3月19日  
全員協議会

2 **公共施設等総合管理計画の進捗状況**  
3 **新庁舎整備建設工事**  
4 **新庁舎敷地造成工事の進捗状況**  
5 **2020年度川西町・愛知大学連携自治体推薦制度(案)の概要**  
6 **第3次生涯学習推進計画**



# あれから…… どうなった!

## 広報活動

# 充実の4年間

「かわにし議会だより」は全国町村議会議長会主催町村議会広報全国コンクールにおいて、平成21年から平成30年度まで連続9年入賞している(P32参照)。東北御三家の雄と表現され、全国の市町村から広報視察が訪れる。今回は、視察対応と効果について4年間を総括し振り返ってみてみる。



歴代受賞の「議会だより」

年度	視察件数	人数(人)
27年度	22	177
28年度	31	258
29年度	14	108
30年度	18	147
合計	85	690

全国コンクール入賞以来県内外からの視察が急増してきた(表参照)。特に、2年連続最優秀賞受賞からは顕著となった。最高は28年度の31件で、定例会と定例会の間に集中している。

遠くは、北は北海道余市町、南は福岡県小竹町など全国からの来町視察があった。主に北関東や東北近県が多く、特に福島県、栃木県、群馬県が多い。4年間で85自治体、690人を数える。

対応は、正副委員長、委員が交代で出席し、説明している。丁寧で具体的な編集方法の説明が好評である(手前味噌)。追記すれば、正副委員長はじめ委員は来町数だけ対応しなければならぬ。

以前、庁舎内に観光物産の陳列と販売を求めたが、現在は森のマルシェへ誘導している。

視察依頼が入った場合、事務局からは可能な限り宿泊、昼食、などの町内利用を進めており、単純計算では690人の来町者に1500円の食事代をかければ103万5千円となる。ほかにお土産などもある。

来町がなければ0であるとする視察交流も効果が多少はあるのではないかと。ダリヤ園や、フレンドリープラザへの誘い、パークゴルフのプレーなど総合的に誘導すればより効果的になるかもしれない。

鳥取県西部町村議長会の視察の際、大山町議長からぜひ交流したいとの要望があり、全国広報研修会の際東京で意見交換。その後来町し、翌年、(昨年)本町議会広報広聴常任委員会が大山町を訪れ交流を深めた。議会は改選があるため議員が変わり、同時に編集スタイルも変わるため交流の継続が困難なのが弱点である。

本町議会もいよいよ改選である。現在の体制での編集も最終号となる。広報活動による成果は大いにあったと自画自賛したい。長い間ご愛読ありがとうございました。

# 町民の声

## 子どもが遊べる 屋内施設が欲しい

東大塚地区にお住まいの大山 紗希さんに、子育てや町に望むことをお聞きしました。

### ❖ プロフィール ❖

**大山 紗希**((おおやま さき)

川西町東大塚  
家族 祖母、父、夫、  
子ども2人、愛犬モフの  
7人家族  
趣味 カメラ、カフェめぐり



### 生まれ育ったまち

私は、生まれも育ちも川西町です。今では、実家に夫を迎え入れ、二人の子どもたちにも恵まれ、大変ながらも充実した生活を送っています。

ずっと川西町に住んでいて思うことは、人が多くはありませんが、その分、人と人の「つながり」が強いということだと思います。

運動会やバレーボール大会など、スポーツを通して交流したり、散歩中には、近所の方から声をかけていただき、子どもたちにおやつをいただいたりなどと、地域の方々に見守られながら子育てしていることを強く実感しています。



子どもと一緒に楽しめる場所が欲しい

### 子育ても安心

子育てをしていると、子どもたちが熱を出したり、体調を崩したりすることがあります。そんなとき、公立置賜総合病院をはじめ、医療機関が充実しているすぐに受診できるので大変ありがたく感じています。

なにかとお金がかかる子育てですが、医療費は18歳までは負担がないので、経済的にも助かっています。

### 町への要望

長女がスイミングを習い始め、日に日に成長する姿が頼もしくな

ってきました。今は、町外のプールに通っているのですが、これから町内にも習い事ができる場所が増えるといいなと思います。

また、子どもたちと出かける機会が多いので、子連れでも気軽に行けるカフェや、冬期間でも子どもたちがのびのびと遊べるような屋内施設があれば、親としてはすごく助かるのかなと思います。

大塚地区に生まれ育った私としては、これから公立置賜総合病院周辺のメデイカルタウンが、どのように変わっていくのかを楽しみにしています。

### 編集のあとで

▼編集に当たって頼りにしているのが『記者ハンドブック』。用字用語集を片手に、疑問があればすぐ開くことにしている▼「議会だより」読んでよ。すみからすみまで…といわれるのが何より一番の励みだ▼委員会の名称も5月から「広聴広報」となる。皆さんの声をよく聞き、手にとって読んで頂ける議会だよりが目標である。(ささき)

- 発行責任者 加藤 俊一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 伊藤 寿郎
- 委員 橋本 欣一
- 同 神村 建二
- 同 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- アドバイザー(文章) 金子 勤
- アドバイザー(写真) 平田 和雄
- 青木 督平
- 鴨 源一
- 齋藤 史郎